

2021 | 秋 | あんず

K y o r i n M a g a z i n e A n z u

vol. 6



杏林大学



あんず

2021 秋 | vol.6 |

Contents

- 4 …… キャンパスカレンダー
- 5 …… 学部教育の実施状況
- 6 …… 令和2年度事業報告
- 7 …… 令和2年度決算報告
- 8 …… データサイエンスプログラム開始、
留学・国際交流
- 9 …… ワクチン職域接種を実施、学生相談支援、
学生表彰
- 10 …… 入試関連情報、2021 年度オープンキャンパス、
東京オリンピック・パラリンピック
- 11 …… 新型コロナウイルス感染症に関する支援、
動画で市民講座「学びの杜」公開

杏林大学 校歌

作詞 池田 文雄
作曲 古関 裕而

一日の光 杏林の 花は薄紅（うすべに）
若き血は 真実（まこと）ひとすじ
奥深き 学びの道を ねがい求めん

二雲流る 清澄（せいちょう）の 白き学舎
友よ師よ 縁（えにし）うるわし
日に新た 科学の英智 きわめ尽くさん

三風香る 信愛の 眼（まなこ）すずしく
もろ人の 生命（いのち）尊し
董奉の 恵の林 みのり仰がん
うみやまを はるか往くとも
ともしびを 明く照らさん



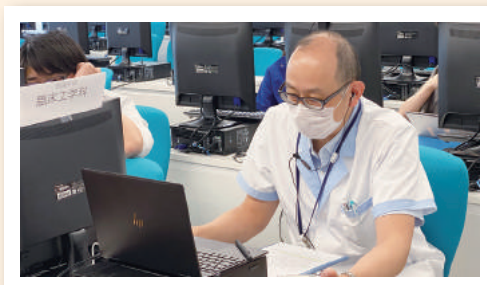
左から作曲家 古関裕而氏と
杏林学園創立者 松田進勇先生、
校歌を吹き込んだ歌手 藤山一郎氏



キャンパスカレンダー 2021.5-2021.10



9月下旬 後期授業が始まった井の頭キャンパス



5月 5月からスタートしたオンラインオープンキャンパス



三鷹キャンパスに実った杏



6-7月 三鷹市民新型コロナワクチン集団接種に協力。約1.5万人の接種に対応



6-7月 学部ごとに2020年度成績優秀者表彰、学部賞等の授賞式を実施しました



硬式野球部、春季リーグ戦の結果を理事長に報告



フライングディスクを使って障がい者スポーツを学ぶ理学療法学科の学生



医学部付属病院外来棟6階のカルガモの親子

8月 高大接続推進室と総合政策学部で、高校生と学部生が共に学ぶ夏期集中講座を開催しました



医学部1年生の授業で行われた「ハンセン病に学ぶ」セッション



9月 学内インターンシップでVR観光体験ツアーをする外国語学部の学生



10月 医学部新講義棟は、2022年3月の竣工を目指して、建設が進んでいます



オンライン学園祭を開催

学部教育の実施状況

新型コロナウイルス感染症が蔓延してから2年目となった2021年度は、これまで通りの感染対策と共に、学生、教職員のワクチン接種を進めていきました。各学部では、感染状況の変化や授業科目の特性に応じて、オンラインや対面形式を選択しながら授業を行っています。前期授業の実施状況、後期の予定などを報告します。

医学部 感染状況が落ち着きを見せていた4月からは、学生の学習効果と精神面への配慮から、できるかぎり対面で講義・実習に参加することを推奨しました。しかし、8月になり感染が急拡大したことから、後期の実習は全面的にオンラインでスタートしました。緊急事態宣言の解除を受け、10月4日から臨床実習(BSL)、11日からは基礎医学実習が対面で再開されています。

保健学部 前期の講義・実習は感染防止対策を十分に行った上で、対面授業を行うと同時に、学生達へ新型コロナワクチンの接種を勧めてきました。後期は、多くの学生の職域接種が終了する10月9日までは、対面とオンラインを合わせた授業形態とし、それ以降は対面授業に戻っています。学内実習については対面で進めていきますが、臨地実習は受け入れ先と協議しながら進めています。

総合政策学部 春学期は原則、履修者50名以上の科目を遠隔授業で行い、50名未満の科目は対面で授業を行いました。7月には、幾つかのグループに分けた学生の代表者達と学部長を含む教員間で懇談会を行いました。学生達は、70%の授業が対面、さらに体調等を考慮して遠隔参加の選択肢があったことに対して満足度が高いことがわかりました。秋学期は10月9日まではオンライン、それ以降は原則70名までの授業は対面で進めています。

外国語学部 対面コミュニケーションを重視する外国語学部では、春学期は70%強を対面で実施し、履修者の多い科目や学外調査を伴う科目は、工夫を凝らしながらオンライン形式で進めました。秋学期は一定数の学生が2回目のワクチン接種を完了する10月9日までは全面的にオンライン授業とし、それ以降は原則対面授業で行っています。

2021年度各学部授業の様子



医学部 対面とオンラインで行われた3年生の血液内科学「止血・血栓の疾患」の授業



保健学部 看護学科看護学専攻で行われた3年生の小児看護学演習の様子



総合政策学部 Global Career Program で外国人に日本を紹介する英語プレゼンテーションの準備を行う学生達



外国語学部 観光交流文化学科のゼミでは、福島県相馬市と連携して地域振興のための企画を提案

令和2年度 事業報告

I. 学校法人の概要（抜粋）

区 分		令和2年度		
設置する学部等		大学院：3研究科15専攻 学部等：4学部15学科		
学生数（収容定員）（人）		平成31年度	令和2年度	令和3年度参考
		5,536 (5,419)	5,598 (5,582)	5,726 (5,690)
教職員数（人）	本務教員（兼務教員）	703（306）	707（306）	716（301）
	本務職員（その他職員）	2,433（56）	2,432（57）	2,494（56）
	合計	3,136（362）	3,139（363）	3,210（357）

II. 事業の概要《主要実施事業抜粋》

区 分		令和2年度 事業計画	令和2年度 事業報告
教育・研究活動	医 学 部	【医学教育分野別評価受審に際して実施した自己点検に基づく医学教育体制の構築】 医学教育分野別評価受審（平成30年10月）に際して実施した自己点検（カリキュラム内容を含む医学教育体制を国際的な基準に照らし総点検）において、「改善に向けた計画」とした内容について、改善の実施体制を構築し、改善の具体案の検討を開始する。	「改善に向けた計画」とした内容に取り組むべく、医学部内の組織として「教育改善委員会」を設置し、改善への実施体制を構築した。令和2年度の「教育改善委員会」は全3回開催し、改善内容について早急に対応するべきもの、数年計画で取り組むべきものを整理するとともに、改善への具体的な検討を行った。
	保 健 学 部	【カリキュラムの評価検討】 理学療法学科、作業療法学科の設置基準が改定され、令和2年4月より新たなカリキュラムによる教育をスタート。他学科における設置基準の改定予定に伴いカリキュラムの評価検討を行う。	厚生労働省の指定規則改定に伴って、令和2年4月より新カリキュラムでの教育を開始した。その骨子は臨床実習の充実、職業倫理や職場管理科目の追加、進歩の著しい画像診断分野の教育強化である。新型コロナウイルス禍にあって現場の医療機関での受入れが制限されたために学内シミュレーション実習へ振替えて対応した。
	総合政策学部	【情報系プログラムの新設等現行カリキュラムの刷新と学部入学定員増に向けた準備】 2022年度を目的に、現代社会における情報化の進展を社会科学の観点から教育内容に盛り込んだ新たな情報系プログラムを新設するとともに、現行カリキュラムを刷新。同時に現在の総合政策学科・企業経営学科合計の入学定員230名を250名程度にまで増員する方向で準備する。	2022年度から導入する新カリキュラムを策定した。その中で情報系のData Design Programを新設し、その一部の科目を、2021年度に入学した学生にも提供することとなった。近隣や地方自治体における地域課題の理解と解決に関する実践的な学びの機会を提供する目的のプログラムも新設した。入学定員の増員は、前年度の受験生の減少、2022年度から野球部の入学生の保健学部への移行、コロナ禍で先を見通しづらいこと等の理由で見送ることとした。
	外国語学部	【教学マネジメントの強化と内部質保証の推進】 教学マネジメントを強化し、3つのポリシー（卒業認定・学位授与の方針、教育課程編成・実施の方針、入学者受入れの方針）を起点とした点検・評価・改善のPDCAサイクルを有効に機能させ、内部質保証を推進する。	コロナ禍においても教学マネジメントの強化を図り、令和3年度から新しいカリキュラムを導入することが承認された。それに合わせて、3つのポリシー（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー）も変更された。
就 職 状 況		【キャリア教育・就職支援の見直し強化】 変化の時代において、キャリアサポートセンターは、学部・学科や保護者、企業などとの連携のもと、時代の流れや学生のニーズにあうようキャリア教育・就職支援を柔軟に見直し強化しながら高い就職率と学生の満足度の向上を目指す。	就職活動は、新型コロナウイルスの感染拡大というかつてない異常事態の中で行われた。企業の採用活動は中止するところが出たほか、多くは中断または停滞し、選考スケジュールは全体的に後ろ倒しとなった。支援も臨機応変の対応が求められたが、体系的なキャリア教育を背景に、教職員の連携により最後の一人まで面倒をみるという地道な活動を行った。 〈就職率〉 保健学部 96.3%（前年度 96.9%） 総合政策学部 96.8%（前年度 99.5%） 外国語学部 99.4%（前年度 98.3%）
学 生 支 援		【高等教育の修学支援新制度への対応】 2020年4月から、経済的に修学が困難な学生を支援する国の授業料等の減免と学生支援機構による給付型奨学金の拡充からなる修学支援新制度が始まる。 この運用には、世帯収入のみならず、高校在籍時や大学在籍中の学業成績、学習意欲の確認を継続的に行い、適格認定していくことになる。入学センター、教務課、その他の関係部署との連携が不可欠になるため、関係部署との連携方法を検討し運用していく。	令和2年4月から開始された経済的に困難な学生の修学支援を目的とした「高等教育の修学支援新制度」については、学生への告知、募集など諸手続きが円滑に運用され、実績として281名の学生に対し奨学金の給付と授業料減免による支援が行われた。 令和2年度は、2度の緊急事態宣言により学生生活が制限されたことに伴い、本推進事業も制限されたが図書館・教務課・キャリアサポートセンターなど関係各部署と密接に連携することで、図書館のイベント企画や各種業務の補助など、図書館アルバイトを活用できる場を設け、学生を総合的に支援した。
付 属 病 院		【地域と連携した特定機能病院としての役割の推進】 1.効率的な病院運営と継続的な診療内容の質的向上 ・手術室の効率的運用と増築に向けた環境整備 他	入院患者数前年度比：前半16.7%、後半9.9%、年間13.4%の減少。 手術室の一部工事。次年度3室増室を計画（22年4月運用予定）。 放射線治療は機器の効率的運用を行い、収益も順調に伸びている。
		2.医療安全の推進と病院の質の継続的改善 ・全職員への教育の実施と意識改革の推進 他	医師、メディカルスタッフに対する一次救命処置（BLS）の講習会や派遣職員及び業務委託職員に対する医療安全の教育研修を実施。医療安全に向けた職員教育を徐々にではあるが確実に実行した。
		3.職場勤務環境の改善 ・医師の時間外労働時間削減に向けた計画立案 他	2024年から始まる医師の働き方改革に備えて、時間外労働の短縮計画の策定に向けた医師個人の外勤時間に関するアンケート調査を実施、今後自己研鑽の定義、宿日直問題など委員会で検討。
		4.地域医療機関との連携推進 ・近隣医師会との交流促進、地域医療機関との連携強化 他	地域医師会などとの交流会がCOVID-19のために中止。代替案として院外広報誌「杏林大学病院ニュース」の特別号を発行した。
		5.専門性の高い人材育成と適正な看護業務の推進 ・認定看護師の特定行為研修制度に向けた環境整備 他	当院における認定看護師の特定行為研修指定機関の申請が認められ、次年度から研修を開始する。

事業計画の詳細は、大学ホームページ「経営・財務情報」に掲載しています。

令和2年度 決算報告

■ 資金収支計算書の概要

総資金収入は689.02億円、総資金支出は624.38億円の規模である。令和2年度の前年度繰越支払資金は64.69億円。また、令和2年度決算の翌年度繰越支払資金は、107.64億円となり、42.95億円の資金が増加した。

収入の部

(単位：億円)			
科 目	令和2年度予算	令和2年度決算	差 異
学生生徒等納付金収入	113.31	112.02	1.29
手数料収入	5.39	4.34	1.05
寄付金収入	4.92	5.02	△ 0.10
補助金収入	19.55	47.24	△ 27.69
資産売却収入	0.00	0.00	0.00
付随事業・収益事業収入	5.23	5.31	△ 0.08
医療収入	384.83	353.85	30.98
受取利息・配当金収入	0.10	0.12	△ 0.02
雑収入	3.89	4.87	△ 0.98
借入金等収入	0.00	45.00	△ 45.00
前受金収入	18.37	17.92	0.45
その他の収入	73.54	93.27	△ 19.73
小 計	629.16	689.02	△ 59.86
資金収入調整勘定	△ 76.98	△ 88.59	11.61
前年度繰越支払資金	74.51	64.69	9.82
収入の部合計	626.69	665.11	△ 38.42

支出の部

(単位：億円)			
科 目	令和2年度予算	令和2年度決算	差 異
人件費支出	230.34	227.63	2.71
教育研究経費支出	30.06	28.62	1.44
医療経費支出	189.39	183.32	6.07
管理経費支出	28.64	29.69	△ 1.05
借入金等利息支出	1.61	1.61	0.00
借入金等返済支出	9.94	9.94	0.00
施設関係支出	48.65	35.81	12.84
設備関係支出	15.97	24.64	△ 8.67
資産運用支出	13.75	28.04	△ 14.29
その他の支出	58.27	55.03	3.24
小 計	626.66	624.38	2.28
資金支出調整勘定	△ 65.43	△ 66.91	1.48
翌年度繰越支払資金	65.47	107.64	△ 42.17
支出の部合計	626.69	665.11	△ 38.42

※百万円未満を切り捨てており、合計額においては差異を生じる場合がある。

< 事業活動収支 >

(単位：億円)			
※	減価償却額合計（教育活動収支に含む）	48.86	47.74 1.12
内 訳	教育研究経費	15.37	15.25 0.12
	医療経費	28.53	27.41 1.12
	管理経費	4.96	5.06 △ 0.10

■ 事業活動収支決算の概要

事業活動収入は533.65億円、事業活動支出は523.63億円である。その結果、基本金組入前当年度収支差額は10.01億円の収入超過となった。基本金を組み入れた後の当年度収支差額は△31.01億円。令和2年度の前年度繰越収支差額は△846.56億円。翌年度繰越収支差額は△877.57億円となった。

(単位：億円)

		科 目	令和2年度予算	令和2年度決算	差 異	
教育活動収支	事業収入の部	学生生徒等納付金	113.31	112.02	1.29	
		手数料	5.39	4.34	1.05	
		寄付金	5.76	5.09	0.67	
		経常費等補助金	17.93	42.43	△ 24.50	
		付随事業収入	5.23	5.31	△ 0.08	
		医療収入	384.83	353.85	30.98	
		雑収入	3.89	4.45	△ 0.56	
		ア) 教育活動収入計	536.36	527.54	8.82	
	事業支出の部	人件費	233.59	231.18	2.41	
		教育研究経費	45.72	44.25	1.47	
		医療経費	217.92	210.71	7.21	
		管理経費	33.60	31.96	1.64	
		徴収不能額等	0.01	0.02	△ 0.01	
		イ) 教育活動支出計	530.87	518.14	12.73	
		A) 教育活動収支差額		5.49	9.39	△ 3.90
教育活動外収支	事業収入の部	受取利息・配当金	0.10	0.12	△ 0.02	
		その他の教育活動外収入	0.00	0.00	0.00	
		ウ) 教育活動外収入計	0.10	0.12	△ 0.02	
	事業支出の部	借入金等利息	1.61	1.61	0.00	
		その他の教育活動外支出	0.00	0.00	0.00	
		エ) 教育活動外支出計	1.61	1.61	0.00	
		B) 教育活動外収支差額		△ 1.51	△ 1.48	△ 0.02
	経常収支差額 (A+B)		4.00	7.91	△ 3.91	
	特別収支	事業収入の部	資産売却差額	0.00	0.00	0.00
			その他の特別収入	2.00	5.98	△ 3.98
オ) 特別収入計			2.00	5.98	△ 3.98	
事業支出の部		資産処分差額	0.23	1.08	△ 0.85	
		その他の特別支出	0.00	2.79	△ 2.79	
		カ) 特別支出計	0.23	3.88	△ 3.65	
		C) 特別収支差額		1.77	2.10	△ 0.33
〔 予備費 〕		0.00	0.00	0.00		
基本金組入前当年度収支差額 (A+B+C)		5.77	10.01			
基本金組入額		△ 47.10	△ 41.02			
当年度収支差額		△ 41.32	△ 31.01			
前年度繰越収支差額		△ 846.66	△ 846.56			
基本金取崩額		0.08	0.00			
翌年度繰越収支差額		△ 887.90	△ 877.57			

事業活動収入計（ア＋ウ＋オ）	538.48	533.65
事業活動支出計（イ＋エ＋カ＋予備費）	532.70	523.63
事業活動収支差額（A＋B＋C）	5.77	10.01

※百万円未満を切り捨てており、合計額においては差異を生じる場合がある。

予算・決算の詳細は、大学ホームページ「経営・財務情報」に掲載しています。

人事情報

■ 2021年6月 就任 臨床教授

医学部 総合医療学教室
倉井 大輔

■ 2021年6月 就任 教授

保健学部 臨床心理学科
田中 薫

学事情報

2021年9月 卒業者

学部・大学院研究科	人数
医学研究科	3名
保健学研究科	1名
国際協力研究科	8名
総合政策学部	8名
外国語学部	4名
合計	24名

2021年9月 入学者

大学院研究科	人数
医学研究科	3名
保健学研究科	1名
国際協力研究科	2名
合計	6名

全学でデータサイエンスプログラム開始

2021年度よりデータサイエンス・AI教育プログラムが始まりました。このプログラムはデータサイエンスやAIに関する基礎知識や技術を修得し、それらを運用する能力の育成を目的としています。

このプログラムでは、個人情報保護やデータ倫理、情報セキュリティといったネットリテラシー、文書作成・表計算、プログラミングや情報処理のしくみなども学びます。ビデオ教材も大学で独自に作成し、オンデマンド方式でいつでも学習できる環境も整えました。また各学部で開講している情報科学系科目にこのプログラムを融合し、学習しやすいようにしました。

4月に開講したこのプログラムは総合政策学部、外国語学部、保健学部、医学部のいずれの学生も履修でき、卒業単位として認定されます。現代社会が必要とするデータサイエンスの知識を身につけ、問題解決力を持った人材の輩出をめざしていきます。



保健学部での「情報処理論」授業の様子

留学・国際交流

2021年度は海外留学・研修の派遣、受入れは全て中止となりましたが、来春からは再開できる可能性が高くなってきました。それまでの間、引き続きオンラインで語学研修や海外学生との交流の機会を提供し、語学力を磨くイベントを学内で実施していきます。

■テキサスA&M大学生とオンライン交流

外国語学部では、例年前期にテキサスA&M大学で日本語を学ぶ学生達を受け入れ、学部生と授業や語学サロン等を通して交流しています。

コロナ禍の今年は、6月から7月にかけてオンラインで嵐ゼミナールの学生を含む19名の学生とテキサスA&M大学生27名が交流しました。



■2021年度実施オンライン海外研修プログラム

新型コロナウイルス感染症の影響により、海外への留学研修は、今年度もオンラインで実施となりました。学生達は、語学のグループ授業や個別指導、異文化講義などのプログラムを通して、語学力を磨き、グローバル社会への学びを深めていきました。

実施時期	期 間	実施大学
8月	4週間	中国 北京語言大学
8月	3週間	オーストラリア アデレード大学
8月～9月	4週間	オーストラリア ティーキン大学
8月～9月	3週間	オーストラリア ニューカッスル大学
8月～9月	2週間	イギリス LSI ポーツマス

■英語サロン・ライティングセンター共催プログラム

英語サロンとライティングセンターの共催で、5月から1ヵ月間「英語プレゼンパーソナルトレーニング」を実施しました。参加した学生は個別指導の下、10分間の英語プレゼンテーションを作成し、発表練習を重ねて英語サロンで最終プレゼンテーションを行いました。



新型コロナウイルスワクチン職域接種を実施

9月初旬から10月初旬にかけて、学生、教職員、近隣大学の学生などの希望者約1,250人を対象に職域接種を実施しました。医師・看護師免許を持つ保健学部の教員が中心となり予診や接種を行った他、医学部付属病院の薬剤師がワクチンの充填を行い、事務職員が受付等の対応をするなど、学園全体で運営されました。



松田進勇記念アリーナで行われた職域接種の様子(左)、保健学部教員によるワクチン接種(中央)、予診(右)

大学全体で学生相談支援

本学では、保健センターや学生相談室など教職員が連携して学生支援に対応しています。最近は、コロナ禍のストレスも重なり、2021年度前期に学生相談室に寄せられた相談件数は、前年1年間の相談件数に達するなど相談は急増しています。

今後の支援に活かすため9月22日、学生相談室の専任カウンセラーで保健学部臨床心理学科の五嶋亜子講師による「配慮が必要な学生への対応」をテーマにした教職員対象の研修会がオンラインで行われ、3学部の教職員83人が参加しました。研修会では、学生相談の利用状況、学生が抱える悩みの傾向、コロナ禍での課題等が紹介され、学生への配慮や連携のあり方について理解を深めました。今後も、教職員が連携して大学全体で学生をサポートしていきます。

学生表彰 杏林大学では、成績が優秀な学生や課外活動等で顕著な功績を残した学生を毎年表彰しています。

2020年度成績優秀学生

学 部	学 科	(学年) 氏 名	学 部	学 科	(学年) 氏 名	学 部	学 科	(学年) 氏 名	
医 学	医学	(1) 杉浦 礼	保 健	救急救命	(1) 櫻井 清美	総合政策	総合政策	(1) 渡邊 耀巳	
		(2) 三津山 柚樹			(2) *			(2) 倉田 莉奈	
		(3) 浅野 愛祐美			(3) 朝比奈 勇斗			(3) 山崎 莉奈	
		(4) 石井 久絵		健康福祉	(1) 村尾 優奈		企業経営	(1) 小澤 彩夏	
		(5) 角田 進			(2) 野田 彩加			(2) 藏持 真衣	
保 健	臨床検査技術	(1) 石川 未来		理学療法	(3) 原田 真於	外 国 語	英語	(3) 磯野 杏菜	
		(2) 山田 夏妃			(1) 土田 ななみ			(1) 小川 凜	
		(3) 渡辺 真衣			(2) 佐藤 竜也			(2) 平川 順也	
	看護学科	(1) 小池 明日菜		作業療法	(3) 熊谷 優里花			(3) 武田 蒼依	
		(2) 外園 歩結			(1) 大塚 葉月	中国語	中国語	(1) 土方 柚葉	
	看護学専攻	(3) 江尻 好花			(2) 小笠原 真歩			(2) 燈村 紅音	
		(1) 吉橋 ひとみ		診療放射技術	(3) 茶木 彩奈			(3) 龔 家佑	
	看護養護教育専攻	(2) *			(1) 児島 朱香	観光交流文化	観光交流文化	(1) 比嘉 カズミ	
		(3) 小山 舞子			(2) 大野 彩			(2) 眞藤 咲希	
		(1) 青木 拓未		臨床心理	(3) *			(3) 関田 早希	
	臨床工学	(2) *			(1) 久城 由歩	*は匿名希望 ※学年は2020年度当時			
		(2) *			(2) 山下 穂花				
		(3) 佐藤 彰洋			(3) 龍 美咲				

2020年度特別表彰学生

学 部	学 科	(学年) 氏 名	受賞理由	学 部	学 科	(学年) 氏 名	受賞理由
保 健	診療放射線技術	(2) 奥野 尋	第1種放射線取扱主任者合格	外 国 語	中国語	(3) 龔 家佑	HSK5級以上合格(6級取得)
	診療放射線技術	(2) 佐々木 彩花	第1種放射線取扱主任者合格		英語	(2) 平川 順也	TOEIC800点以上(870点)
	診療放射線技術	(2) 渡部 杏梨	第1種放射線取扱主任者合格		※学年は2020年度当時		

2020年度学部表彰学生

医 学 部	学会発表での受賞者を表彰 受賞者:6名(6年生)	総合政策学部	●成績優秀者表彰:42名(4年生10名、3年生11名、2年生11名、1年生10名) ●課外・社会活動等で功績を残した者:1名(4年生) ●資格・検定等の合格者・高得点取得者:2名(4年生1名、2年生1名)
保健学部	難関試験合格者や卒業研究での表彰者などを表彰 受賞者:49名(4年生)	外国語学部	●外国語学部四賞(学部長賞・杏会長賞・同窓会長賞・国際交流賞):6名(4年生) ●課外・社会活動等で功績を残した者:5名(4年生4名、3年生1名) ●資格・検定等の合格者・高得点取得者:36名(4年生5名、3年生22名、2年生7名、1年生2名)

入試関連情報

■ 医学部 東京都および新潟県地域枠選抜を実施

文部科学省と厚生労働省では、地域の医師確保等の観点から医学部の入学定員の増加を行っています。
本学では2022年度入学者を対象とした入試で、引き続き東京都(10名)と、新たに新潟県(2名)の地域枠選抜を実施するため、認可申請をしています。 *6年間の授業料等が奨学金として貸与され、制度が定める条件を満たすことで返済が免除されます。

■ 保健学部 健康福祉学科に精神保健福祉士課程開設

メンタルヘルスの課題を抱えた人の生活を支える精神保健福祉領域のソーシャルワーカーを育成するため、2022年度に健康福祉学科に精神保健福祉士課程を開設します。

■ 大学院 医学研究科 5専攻を1専攻へ再編

医学研究科では、これまで、生理系・病理系・社会医学系・内科系・外科系と5つに分かれていた専攻を融合し、発展させる形で2022年度に医学専攻の1専攻へ再編します。

■ 大学院 保健学研究科 臨床心理学専攻開設

2018年に保健学部開設された臨床心理学科では、公認心理師の育成を行っています。この国家資格の受験要件のひとつである大学院の専門課程修了を満たすため、2022年度に保健学研究科に臨床心理学専攻を開設します。

2021年度オープンキャンパス

今年度のオープンキャンパスは新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、オンラインに切り替えて実施しました。
また、大学ホームページ「受験生サイト」などで各学部・学科、施設紹介動画など受験生向けのコンテンツの充実を図っています。

オープンキャンパス実施状況

学部	実施日
医学部	7/17
保健学部	5/23・8/8・8/9
総合政策学部	5/23・8/14・8/15
外国語学部	5/23・8/14・8/15

「受験生サイト」
はこちらから



学生広報スタッフ「MITAIxINOKASHIRA」によるオンライン学生相談

東京オリンピック・パラリンピック

本学初 パラリンピック選手が出場

大学院医学研究科 統合生理学教室に在籍する有安諒平さんが、混合舵手つきフォアに出場しました。
このボート競技は、4人の選手がかじ取り役と共に2,000mのタイムを競うもので、猛暑の中、過酷なレースを戦いました。

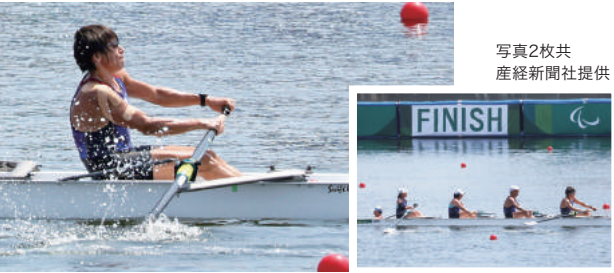


写真2枚共
産経新聞社提供

医療面で大会を支援

東京都や東京2020組織委員会等の要請に応え、医学部付属病院では、通常診療や新型コロナウイルス感染症患者などに対応する中、高度救命救急センターなどのスタッフが大会を医療面で支援しました。また、保健学部の教員なども協力しました。



新型コロナウイルス感染症に関する支援



三鷹市民対象集団接種の会場風景(左)、ワクチン接種(中央)、予診の様子(右)

■三鷹市民新型コロナワクチン集団接種に協力

6月から7月の30日間、65歳以上やエッセンシャルワーカーを対象とした三鷹市民の集団接種に本学が協力しました。3月に竣工した松田進勇記念アリーナを会場として提供し、医学部付属病院の医療スタッフが予診、接種、ワクチンの充填等の対応、学園職員が会場運営のサポート等を行い、約1.5万人が2回の接種を完了しました。

■保健学部教員が保健所をサポート

保健師の資格を持つ看護学科看護学専攻 地域看護学研究室の教員5名が、8月に多摩府中保健所で保健師業務の支援を行いました。保健所の要請による本支援は、今年1・2月に続き2回目の実施となり、陽性者へ電話による病状確認や自宅療養時のアドバイス、積極的疫学調査による濃厚接触者の確認等を行いました。

動画で市民講座「学びの杜」をホームページで公開

杏林大学は、2021年6月より本学の特色を活かした医療系・人文社会科学系の市民講座“学びの杜”をケーブルテレビJ:COM 武蔵野・三鷹で放送しています。9月からは大学・病院ホームページでもご覧いただけるようになりました。

動画で市民講座

動画は
こちらから
ご覧ください



●知って安心 老いるということ	大瀧 純一 学長
●今日からできる脳卒中対策	医学部 平野 照之 教授
●不整脈を知ろう	医学部 副島 京子 教授
●高齢期の食事と栄養	保健学部 大久 朋子 准教授
●Z世代の国語	外国語学部 金田一 秀穂 客員教授
●辞書で遊ぼう	外国語学部 金田一 秀穂 客員教授
●温泉とウェルネスツーリズム	外国語学部 小堀 貴亮 教授

あたたかいご支援に感謝

日頃より、杏林大学を支えてくださる皆様のご支援とご理解に感謝申し上げます。
コロナ禍においては、これまでに学生支援のための教育研究募金や治療の最前線に立つ医療者が治療に専念できる環境を整備するための付属病院へのご寄付を多くの皆様から賜りました。寄付状況は記載のとおりです。この場を借りて改めて御礼申し上げます。

■2021年度寄付状況

2021年4月1日から10月4日までの種類別件数と金額等を報告します

教育研究募金	11件	4,290,000円
医学部付属病院へのご寄付	17件	3,943,000円
杏林大学医学部講義棟建設募金	127件	72,764,560円
奨学寄付金	79件	54,627,600円
杏林大学リサイクル募金	36件	197,113円

皆様からのご寄付は、それぞれの使途・目的に沿って、有効に活用させていただいております。

杏林学園募金サイト



杏林学園募金サイトでは、寄付金受け入れ状況や医学部講義棟建設工事の進捗、寄付者の皆様からのメッセージ、各種募金について毎月ご案内しています。

●お問い合わせ先:杏林学園募金事務局(経理課内)
〒181-8611 東京都三鷹市新川6-20-2
TEL:0120-50-1665(フリーダイヤル)
E-mail:bokin@ks.kyorin-u.ac.jp



あんず Anzu 2021 | 秋 |

学校法人 杏林学園

2021年10月29日発行

発行 学校法人 杏林学園

企画・編集 広報室

〒181-8611 東京都三鷹市新川6-20-2

TEL.0422-44-0611